

## KV-200 極紫外分光器（真空紫外分光器）



KV-200 極紫外分光器は、窒素パージ方式の分光器です。

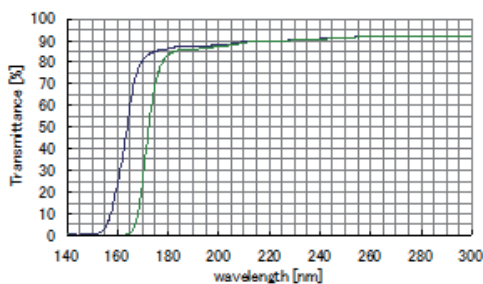
波長 120 ~ 300nm における分光測定（透過・反射率測定）や分光照射などにご使用を頂けます。

これまでの瀬谷-浪岡マウントの真空紫外分光器では真空ポンプや真空に耐えうる筐体が必要であり、それらを支えるための架台も重厚なものとなるうえ、ポンプの故障などの心配もありましたが、KV-200 極紫外分光器は、窒素系の配管のみで済む為、コンパクト & 低価格を実現しました。

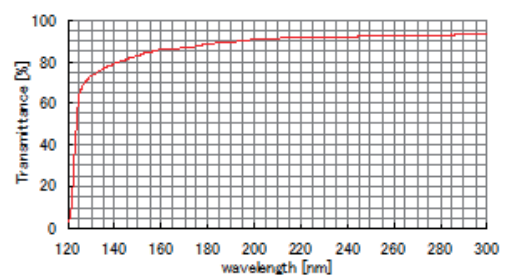
- 波長 120 ~ 300nm( 真空紫外領域) のさまざまな分光用途に最適
- 窒素パージ型分光器採用で、高分解 & 高安定を実現
- サインバー機構・波長リニア走査により波長カウンタを搭載

## 測定データ例

\*KV-200 極紫外分光器を使用した KV-202 卓上型真空紫外分光光度計の測定データ例です\*

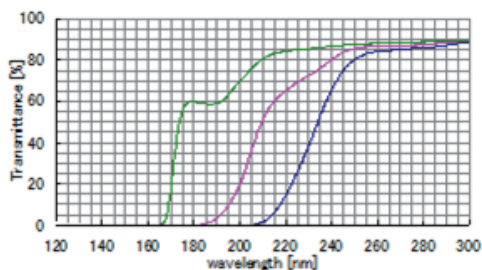
●厚みのある合成石英 (SiO<sub>2</sub>) の透過率●

厚みが 1mm と 40mm の合成石英 (SiO<sub>2</sub>) を測定しました。  
厚みの違いによる透過率の違いが弊社独自の光学系により正確に測定できています。

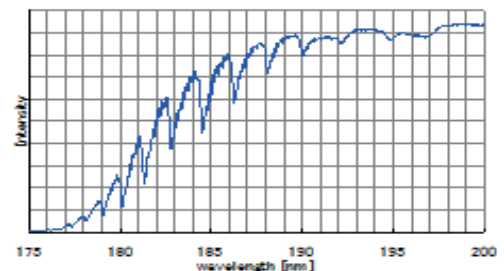
●フッ化カルシウム (CaF<sub>2</sub>) の透過率●

光学結晶やレジストの評価に使用するフッ化カルシウム (CaF<sub>2</sub>) を測定しました。  
F2 レーザや ArF レーザの波長領域を再現性良く測定できています。

## ●食品包装用フィルムの透過率●



厚さ 10μm 程のフィルムを測定しました。  
ポリマーなどの薄いサンプルも容易に測定できます。  
汎用の紫外可視分光光度計では測定が困難な真空紫外領域から紫外領域まで連続して測定ができます。

●空気 (O<sub>2</sub>) の高分解測定●

空気を分解 0.1 nm で測定しました。  
空気に含まれる酸素の Schumann-Runge 吸収帯にある細かい構造もはっきりと測定できています。

## 仕様

光源	重水素ランプ 30W
構造	窒素パージ型
光学方式	クロスマウント方式
焦点距離	200mm
口径比	F=4.5
波長領域	120 ~ 300nm (4 ~ 10eV)
最高分解能	0.1nm (スリット幅 0.01mmにおいて)
波長精度	±0.1nm
波長繰り返し再現性	±0.1nm
波長表示	カウンタ方式 nm 直読表示 (最小目盛 1nm)
駆動方式	サインバー駆動 波長リニア方式
スリット	入射側・出射側ともに 0 ~ 2.5mm 連続可変 (半値幅 0 ~ 5nm)
流量計	内蔵 (目盛 1 ~ 10L/min)

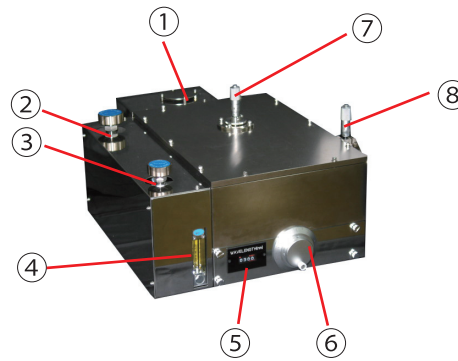
## 標準構成

- 重水素ランプ 30W
- 重水素ランプ電源
- 窒素パージ式分光器
- 回折格子 2400本/150nm プレーズ
- 取扱説明書

## オプション

- 波長駆動コントローラ
- 高次光カットフィルタおよびコントローラ
- シャッタ自動機構
- 各種回折格子
- 光電子増倍管
- CCD 検出器

## 光学系



- |                        |         |
|------------------------|---------|
| ①光源                    | ⑤波長カウンタ |
| ②N <sub>2</sub> OUTバルブ | ⑥波長ハンドル |
| ③N <sub>2</sub> INバルブ  | ⑦入射スリット |
| ④窒素ガス流量計               | ⑧出射スリット |

## 外形寸法

・本体 : 約 W390×D530×H260mm

●記載の仕様および外観は予告なしに変更する場合があります。

< KV200-2201027N >

## 分光計器株式会社

<http://www.bunkoukeiki.co.jp/>

本社・工場 〒192-0033 東京都八王子市高倉町 4-8  
 TEL 042(646)4123 FAX 042(644)3881

東日本営業所 〒113-0034 東京都文京区湯島 3-23-1  
 TEL 03(3837)1021 FAX 03(3837)1023

西日本営業所 〒533-0014 大阪府大阪市東淀川区豊新 3-24-5  
 TEL 06(6323)4502 FAX 06(6323)4902

## ●お問い合わせは